

授業概要

我が国においては、人口全体では、生活習慣病が死因の上位を占める中、毎日のライフスタイルそのものが病気の原因や予防に深く関わっていることが次第に明らかにされつつある。一方で、若者の死因の第1位は自殺であることから、身体のみならず、精神的な健康の重要性が増している。また、人類はCOVID-19を経験し、より疾病予防の重要性を認識するようになった。人間が究極的に目指す「不老長寿」にはどのような要因がより重要となってくるのかについて、急成長する健康ビジネスの実態について講義し、良質な健康ビジネスの発展は、世界中の人々を健康に導くことができることについても理解を深められるよう講義する。また、WHOの健康の定義を踏まえ、身体、精神、社会、スピリチュアルの各視点からの関連するビジネス業界について、周辺分野も含めて講義する。今後益々セルフケアやセルフメディケーションの促進が重要となることとビジネスとの関係についても理解を深められるよう講義する。更に近年、健康との関係で重要視されているソーシャル・キャピタルについても講義する。

授業計画

第1回	健康ビジネスとは？ 健康日本21、健康増進法
第2回	WHO 健康の定義、ヘルスプロモーション、パブリック・ヘルスとの関係
第3回	セルフケア、セルフメディケーション時代への突入
第4回	衣・食・住のすべてに関連する健康ビジネス
第5回	栄養、運動、休養・睡眠
第6回	不老長寿ビジネス、五感に働きかける健康ビジネス
第7回	ストレスと健康ビジネス—マインドフルネス、ソーシャル・キャピタル
第8回	フード・ビジネス
第9回	フィットネス・ビジネス
第10回	快眠ビジネス
第11回	ヒーリング・ビジネス、リラクゼーション・ビジネス
第12回	アミューズメント・レクリエーションビジネス
第13回	生活関連（日用品・衛生用品）ビジネス
第14回	アンチエイジング・ビジネス、介護予防
第15回	グローバル・ヘルス・ビジネス—健康ビジネスの未来
第16回	試験

到達目標

- ・健康ビジネスの範囲と内容について説明できる。
- ・なぜ、今健康ビジネスが求められているかについて説明できる。
- ・時代のニーズに合った新たな健康ビジネスについて創造することができる。
- ・セルフケアやセルフメディケーションの重要性について理解できる。
- ・ストレス社会の中では人間関係も重要な健康因子であることについて説明できる。

履修上の注意

自らの健康管理についても意識しながら、履修をするようにしてください。

予習・復習

教科書の各単元について事前に1時間程度しっかりと読んで予習し、毎回の終了テーマごとに1時間程度復習してください。

評価方法

授業内レポート40%、学期末試験60%

テキスト

教科書名：図解入門業界研究 最新健康ビジネスの動向とカラクリがよ〜くわかる本[第3版]

著者名：川上清一

出版社名：秀和システム

出版年：2022年（ISBN978-4798067506） 1540円